

令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

特定非営利活動法人群馬リカバリーねっと

1、事業実施の成果

看護師、精神保健福祉士の有資格者を中心に、就労継続支援B型事業所「リカバリーハウス」、グループホーム「CoCoRiKa」を運営している。

(1) リカバリーハウス（就労継続支援B型事業所）

リカバリーハウスでは、各自の目標に向かって、生活リズムを整え、就労環境への適応を図るために日々の作業に取り組んできた。ただ、新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言発令に伴い、4月中旬～5月末までの期間は休業し、自宅から通所している利用者とは電話やLINEで体調等を確認しながら、グループホーム利用者の支援を中心にあたった。6月再開後も請負企業からの作業依頼の変動もあり、短縮営業等が続いていたが、秋頃から作業量は回復傾向に向かっている。休業期間があったものの、令和2年度の作業収入は¥1,657,950、一人当たり平均工賃は¥9,928/月、最高額¥23,850/月となった。平均利用者数も、令和2年度13.2人/月（前年度13.7人/月）に踏みとどまった。一方、利用者の利用目的や能力もこれまで以上に多様になっており、工賃規程の見直しが課題である。

新型コロナウイルスの影響を考慮し、前年度までのような行事や外出等の機会は減ったが、事業所内で季節や時期に応じた食事を提供した。

(2) CoCoRiKa（グループホーム）

玉村町内にて、4月・7月にサテライト型住居各1部屋を新設し、本体住居定員7名・サテライト型定員2名の定員計9名のグループホームとなった。今年度3名退所することにはなったが、新規に2名入所した。年度末の入所者は7名（本体1名・サテライト1名）である。

食事は、昼食と夕食の配食を基本にし、朝食や休日の食事は、個人の力量や希望に添って対応している。受診は、自力で無理な場合は同行している。リカバリーハウス同様、新型コロナウイルスの影響を考慮し、前年度までのような行事や外出等の機会は減ったが、事業所内で季節や時期に応じた食事を提供した。リカバリーハウス休業期間中に高崎・観音山古墳公園まで散歩して、自粛期間中の気分転換、運動不足解消を図った。

2、事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

就労継続支援 B 型の運営

グループホームに関する運営

(2) その他の事業

実施していない

3、会議に関する事項

(1) 総会 令和 3 年 5 月 20 日(木)

(2) 理事会

毎月開催し、法人及び就労継続支援 B 型・グループホームの運営に関する事項について協議を行った。